

令和5年度「指導と評価の年間計画」（シラバス）

教科	科目	解説学年 (年次)	単位数	教科書名	副教材
国語	現代の 国語	1	2	現代の国語（数研出版）	・ライトパーフェクト(尚 文出版) ・カラー版新国語便覧(第 一学習社)

到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
評価の観点	<p>【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【主体的に取り組む態度】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>

月	考查	教材名	学習内容	時数	評価方法
4	一学期 中間 考查	意見文を書く	社会のできごとや自分の身の回りの出来事に目を向け、自分の考えを深め、相手に伝わる文章を書く。	6	授業態度 発問評価 指名音読 ノート (ワーク シート) 提 出 小テスト 定期考查
4		コミュニケーション能力とは何か	文章の構成や論理の展開などを意識しながら、筆者が言うコミュニケーション能力とは何かを理解する。	4	
4・5		「わらしべ長者」の経済学	内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、用紙や要点を把握する。	4	
5・6	一学期 期末 考查	政治的思考	「民主政治」と「独裁体制」とを比較しながら、「政治的思考」において大切なことは何かをつかむ。	4	
6		ものごとことば	筆者の主張をまとめ、言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解する。	4	
6・7		動物というメディア	西欧文化と日本文化の特徴を比較しながら、自然と人の関係についての筆者の主張をまとめる。	4	
7		時間と自由の関係について	文章の構成を踏まえて、二つの時間について違いを明確にする。	4	
8・9	二学期 中間 考查	他者を理解するということ	「他者の『全人的理解』」に対する筆者の考えを理解した上で、他者の理解において大切なことは何か考える。	4	
9		感情暴走社会の由来	筆者の主張と「社会人の条件」との関連性について理解し、まとめる。	4	
10		デジタルメディア時代の複製	デジタルメディアの発達によって変化した点を理解する。また「一つの警鐘」の内容について筆者の意図を理解する。	4	
11	二学期 期末 考查	命は誰のものなのか	「命」についての筆者の主張を理解する。題の「命は誰のものなのか」という問いかけについて考える。	5	
12		事実なのか考えなのか	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について注意しながら、事実の多面性とその危険性について正確に把握する。	4	
1		無痛化する社会のゆくえ	「無痛化」が現代文明によって大衆化された「現代文明の根本問題」であることを理解する。	5	
1・2	学年 末 考查	絵を前に思いをめぐらす	筆者が絵とどのように対面すべきだと考えているかを理解する。	5	
2		芸術の価値とは	身近な絵画や写真の中からよいと思った作品を選び、自分の解釈を発表する。	2	
2・3		文章の構成を工夫して提案する	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫した資料を作成する。	7	